

第1回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会開催要綱

- 1 趣旨 「九州はひとつ」の合い言葉のもと、九州各県の高校生に芸術・文化活動の総合的な発表の場を提供することによって、芸術・文化活動への参加意欲を喚起し、創造的な人間育成を図る。また、芸術・文化活動を通じて九州各県の高校生が部門を越え交流することによって、感性を磨き更なる文化力の向上を図る。
- 2 主催 九州高等学校文化連盟 沖縄県高等学校文化連盟
- 3 共催 沖縄県教育委員会
- 4 後援 那覇市教育委員会 沖縄市教育委員会 浦添市教育委員会 宜野湾市教育委員会
北中城村教育委員会 九州地区高等学校長会 沖縄県高等学校長協会
沖縄県高等学校PTA連合会 沖縄タイムス社 琉球新報社 NHK沖縄放送局
琉球放送株式会社 琉球朝日放送株式会社 沖縄テレビ株式会社
沖縄ケーブルネットワーク株式会社 株式会社エフエム沖縄 株式会社ラジオ沖縄
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
- 5 期間 平成29年12月15日（金）～17日（日）
写真、書道部門は6月先行開催、書道展は12月開催
吹奏楽は平成30年2月に開催
- 6 開会行事
総合開会式 平成29年12月15日（金）13：00～
沖縄県立武道館（沖縄県那覇市奥武山町52番地 奥武山公園内）
アクセス：沖縄都市モノレール（ゆいレール）奥武山公園駅から徒歩5分
- 7 開催部門および会場等
別表1のとおり
- 8 開催内容
別表2のとおり
- 9 大会役員
 - ◆大会実行委員会：会長、副会長、各専門部長、各専門委員長、事務局
 - ◆生徒実行委員会：各部門生徒代表
 - ◆部門実行委員会：各専門部長、各専門委員長、各専門委員
 - ◆総合開会式実行委員会：会長、副会長、各専門委員長、各部門生徒代表、事務局

別表1 開催部門及び会場等

開催部門		主会場	所在地	大会実施日程				
				12/14 (木)	12/15 (金)	12/16 (土)	12/17 (日)	
総合開会式		県立武道館	那覇市		13:00～ 15:00			
1	書道	県立武道館 「ているる」 那覇市民ギャラリー	那覇市	6月16, 17日に先行開催。 作品展示は12/12～17				
2	写真	那覇市ぶんかテンプス館 那覇市民ギャラリー	那覇市	6月15,16,17日に先行開催 作品展示は6/13～18				
3	美術・工芸	県立博物館・美術館 那覇市ぶんかテンプス館	那覇市		15:30～ 20:00	9:00～ 17:00	9:00～ 11:30	
4	文芸	沖縄産業支援センター3階	那覇市		15:30～ 17:00	9:30～ 17:00		
5	囲碁	沖縄産業支援センター1階	那覇市			9:00～ 21:30	9:00～ 13:10	
6	弁論	沖縄県男女共同参画センター 「ているる」	那覇市		15:00～ リハ	9:00～ 16:30		
7	放送	浦添市てだこホール	浦添市		15:00～ 受付	9:00～ 21:30	9:00～ 13:20	
8	小倉百人一首かるた	県立武道館 第3錬成道場	那覇市		9:00～ 17:50	9:00～ 14:00		
9	吹奏楽	沖縄コンベンションセンター イオンモール沖縄ライカム	宜野湾市 北中城村	平成30年2月23,24日開催				
10	協賛部門	茶道	県立武道館	那覇市		11:00～ 15:00		
11		郷土芸能	国立劇場おきなわ	那覇市	12月11日(月) 午前中リハ、14:00～(予定)			
12		社会活動	県総合福祉センター	那覇市			9:00～ 17:00	

別表2 開催内容

開催部門		主な内容	
総合開会式		式典, 及び歓迎アトラクション	
1	書道	九州各県から推薦された生徒が6月に揮毫大会、生徒交流会 12月に各県から推薦された優秀作品を展示	
2	写真	九州各県から推薦された生徒が6月に撮影大会、生徒交流会 同時に各県から推薦された優秀作品を展示	
3	美術・工芸	九州各県から推薦された優秀作品の展示及び生徒交流会	
4	文芸	九州各県から推薦された優秀作品の展示及び生徒研修交流会	
5	囲碁	九州各県から推薦された生徒による競技、生徒交流会	
6	弁論	九州各県から推薦された優秀弁士による発表、生徒交流会	
7	放送	九州各県から推薦された個人・優秀校による発表及び優秀作品の映写、 生徒交流会	
8	小倉百人一首かるた	九州各県から推薦された生徒による競技	
9	吹奏楽	九州各県から推薦された優秀校による演奏及び発表、生徒交流会	
10	協賛部門	茶道	県内の高校生による呈茶会（総合開会式時）
11		郷土芸能	九州から優秀校を招待し、演技発表及び生徒交流会
12		社会活動	九州から優秀校を招待し、発表及び生徒交流会

第 1 回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会 囲碁部門
第 32 回全九州高等学校囲碁選手権沖縄大会実施要項

1. 主 管 九州高等学校文化連盟囲碁専門部 沖縄県高等学校文化連盟囲碁専門部
2. 日 時 平成 29 年 12 月 16 日（土）～ 17 日（日）
3. 日 程 下記のとおり

第 1 日 12 月 16 日（土）	第 2 日 12 月 17 日（日）
9：00～9：30 受付	7：00～8：30 朝食
9：30～10：00 開会式	8：30～8：50 受付
10：00～12：10 1～4 回戦(9 路) 昼食	9：00～11：55 4～5 回戦(19 路)
13：20～17：40 1～3 回戦(19 路)	11：55～12：40 表彰準備
18：30～21：00 生徒交流会	12：40～13：10 表彰式・閉会式

4. 会 場 沖縄産業支援センター（沖縄県那覇市宇小禄 1831 番地 1）

5. 出場資格 (1) 団体戦 男女とも各県 2 チームまで
(2) 個人戦 19 路盤の部 男女とも各県 3 人まで
9 路盤の部 男女とも各県 2 人まで

※団体戦と個人戦(19 路盤の部)の重複出場はできないが、9 路盤の部との重複は認める。

※参加者数が不足の時は、補欠チーム、補欠選手出場を認めることがある。

6. 競技方法 9 路盤の部

対局は、オール互先・先番 6 目半コミだし。持ち時間は 10 分とし秒読みは行わない。
組合せ及び順位付けは、4 回戦のスイス方式を適用する。

19 路盤の部

対局は、オール互先・先番 6 目半コミだし。持ち時間は 40 分とし秒読みは行わない。
組合せ及び順位付けは、5 回戦のスイス方式を適用する。

(但し、団体戦で参加チームが 13 チーム以下、個人戦で参加者数が 13 人以下の場合は、
4 回戦のスイス方式を適用する)。

7. 大会参加数 男子団体戦 16 チーム、女子団体戦 16 チーム

男子個人戦(19 路盤の部) 24 人、(9 路盤の部) 16 人

女子個人戦(19 路盤の部) 24 人、(9 路盤の部) 16 人

8. 表 彰 男女団体戦、男女個人戦(19 路盤の部)とも第 6 位まで表彰する。

男女個人戦(9 路盤の部)は第 3 位まで表彰する。

9. 申し込み方法 ①各県専門委員長は、推薦書(共通様式 1)を各県高文連事務局に郵送及びメールする。

②参加校は、「全部門共通参加申込書」(共通様式 2)を各県高文連事務局に郵送する。

また、③参加申込書を各県囲碁専門部に提出する。

④各県囲碁専門部は、参加申込書をまとめて沖縄大会事務局にメールする。

提出〆切り ① 10/20(金) ②・④ 11/10(金) ③は、各県囲碁専門部の指定期日

10. 大会全般に対する問い合わせ

沖縄県高等学校文化連盟囲碁将棋部門部 専門委員長 石垣 信秀

〒901-0155 沖縄県那覇市金城3-5-1

那覇西高等学校

TEL : 098-858-8274

FAX : 098-858-2938

E-mail : ishiganb@open.ed.jp

11. その他 高校1年生および2年生で、本大会成績上位者については、高等学校文化連盟全国囲碁専門部主催の「第12回全国高等学校囲碁選抜大会」へ推薦する。

ただし、個人戦(9路盤の部)と個人戦(19路盤の部)の成績上位者が重複した場合、個人戦(19路盤の部)を優先し、個人戦(9路盤の部)は繰り上げで推薦をする。

12. 競技進行に関する注意事項

(1) 手合いと先手後手の決定

先手後手は「握り」で決定する。

団体戦は主将が握り白黒を決め、主将が黒の場合、副将は白、三将は黒とする。

(2) 対局時計

対局時計を用い、その置く位置は白番が決める。

時計は石を打った方の手で押さねばならない。

(3) 持ち時間

持ち時間は各40分(9路盤の部は10分)とする。秒読みはないので時間が切れると形勢にかかわらず負けになる。但し、明らかな時間切れ狙いの着手があったと審判が認めたときは、審判で勝敗を裁定することがある。

(4) スイス方式の順位決定方法

(a) 勝ち数の多い選手(チーム)を上位とする。

(b) 勝ち数が同じ場合は、対戦した相手の勝ち数の総和(以下「SOS」という)が多い選手(チーム)を上位とする。

(c) SOSが同じ場合は、対戦した相手のSOSの総和(以下「SOSOS」という)が多い選手(チーム)を上位とする。

(d) 団体戦において、SOSOSが同じ場合は3名の勝ち局数の和の多いチームを上位とする。

(e) (c) 及び(d)でも同順位の場合は、直接の対戦がなされていればその勝者を上位とする。それでも決定しない場合は同順位とする。

(5) 反則

対局相手に以下の行為があった場合、反則勝ちとなる。該当者は時計を止め、速やかに審判長に申し出ること。但し、対局者が反則を指摘しないと反則にはならない。

(a) 対戦相手以外の助言を受けること。

(b) 禁じ手や二手連続の着手。

(c) 待った(石から手を離したら、打ち直しはできない)。

(6) 大会での取り決め事項

(a) 対戦相手の時計の押し忘れを教えないこと。

(b) 写真撮影は対局開始5分以内で行うこと。

(7) 対局マナー

以下の行為は慎み、正々堂々と対局すること。

(a) 対局者以外の者が声をかけること。

(b) 対局場での飲食(ただし、飲み物に関しては、選手の健康を配慮して、蓋のついてい

る容器に入っているもののみ、水分の補給を認める)。

(c) 対局場内で騒がしくすること。

(8) その他

問題が生じたときは時計を止め、対局を中止し、速やかに審判員に申し出て判定を審判長に一任する。